

令和8年度入学 一般選抜前期日程
理科（化学） 講評

第1問

【出題のねらい】

元素の性質に関する問題である。基本的な性質や性質の周期的な変化に対する理解度を問うた。

【講評】

用語を答える問では正答率が高かったが、周期的な変化をグラフから選択する問では正答率が低かった。元素の種類によって性質がどのように変化するのか、その理由も含めて理解を深めてほしい。

第2問

【出題のねらい】

化学平衡と溶解度積に関する問題である。基本的な事柄や塩ができるイメージに対する理解度を問うた。

【講評】

基本的な部分の正答率は高かった。溶液中で塩ができる際のイメージができているかが重要である。暗記に頼ることなく、教科書を中心にしっかり学習してもらいたい。

第3問

【出題のねらい】

アルカンの構造と立体化学に関する問題である。

【講評】

基本的な部分に関しては、良くできていた。本問では、文章中に詳しい説明があり、これを読み取ることで正答に辿り着くことができる。長い文章を丁寧に読んで、内容を整理しながら解答するよう、繰り返し問題を解く練習をしてほしい。

第4問

【出題のねらい】

酢酸を中心とした電離平衡に関する問題である。平衡に対する基本的な内容や、計算も含めた電離定数と濃度の関係に対する理解度を問うた。

【講評】

全体的に正答率が低かった。用語や公式を暗記するのではなく、それらの意味を正しく理解し、応用できるように学習を進めてほしい。